

Elazzio

SEAT COVER



HONDA
N-VAN e:

専用シートカバー取付説明書



SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

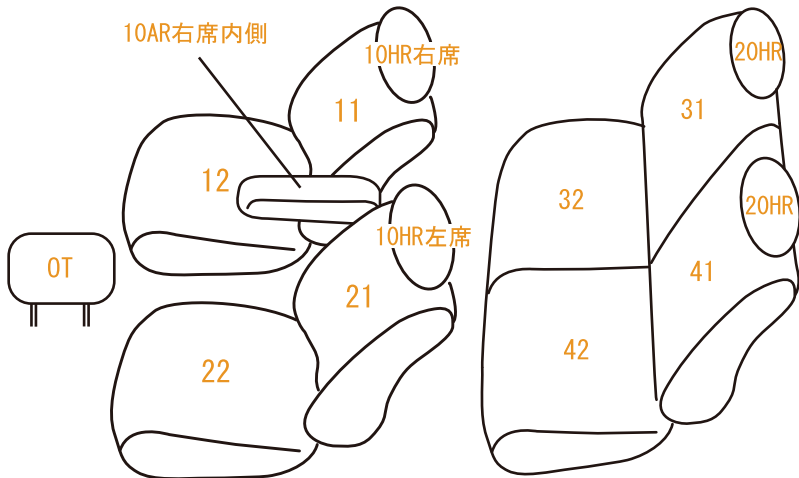
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…➔ 1P～2P
警告 サイドエアバッグについて	…➔ 3P～4P
運転席座面の装着方法	…➔ 5P～7P
運転席背もたれの装着方法	…➔ 8P～10P
助手席座面の装着方法	…➔ 11P～13P
助手席背もたれ装着方法	…➔ 14P～17P
2列目座面の装着方法	…➔ 18P～19P
2列目背もたれの装着方法	…➔ 20P～21P
ヘッドレストの装着方法	…➔ 22P～24P
アームレストの装着方法	…➔ 25P
フロアボードの装着方法	…➔ 26P
完成図	…➔ 27P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…➔ 28P～29P

本製品シート形状とパーツの名称



※EH-2055に20HRは付属しておりません

取付必要工具



- ① ソケットレンチ(13mm)※エクステンションバーは必要に応じてご用意ください
- ② プラスドライバー
- ③ 内貼りはがし
- ④ クラッツィオ 専用ヘラ(付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。

事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。

- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつくなる場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
 - ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
 - シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
 - 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
 - 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
 - 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
 - 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。
- またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適 空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



- 1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



- 3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。
その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



- 2 シートを上から見た状態です。
通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



3P ▶

- 4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。
この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。
SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることになります。
位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

Step 1

運転席座面の装着方法



- 1 シートの前側から、シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 4 シートの背面から入れ込んだ生地を引き出します。



- 2 シートベルトのバックルをカバーの加工穴から取り出します。



- 5 引き出した生地の上にマジックテープが付いています。マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、生地を入れ込みやすい位置で作業を行ってください。この際、図の赤矢印部分に生地が巻かれた配線が通っています。配線部分を避けて生地を入れ込んでください。



- 6 シートの背面は図のようになります。



- 7** シート内側の背面に、生地の手付に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。
こちらの純正シート地は、しっかりマジックテープが固定出来る生地ではありません。仮止めができる程度の固定になります。



- 8** シートの外側です。
固定部材の付いたカバーを、シートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。
カバー側面にシワが残らないように、生地を入れ込んでください。



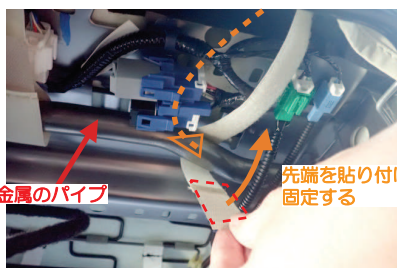
- 9** シート外側の付け根部分は隙間が狭くなっています。
ヘラなどを使用して、生地をプラスチックパーツの内側へ向かって入れ込むようにすると、生地が入り込みやすくなります。



- 10** シート前側の裏側です。
図の矢印部分に、カバーの手付に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。
シートの内側・外側ともに作業を行ってください。



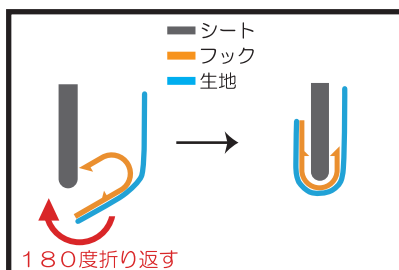
- 11** シート前側のカバーに付いている2本のマジックテープのベルトを、シートの裏側に入れ込みます。



- 12** マジックテープをシートの裏側にある金属のパイプに巻き付けて折り返します。
マジックテープの先端を、ベルト部分に貼り付けて固定します。



- 13** シート前側の裏側は図のようになります。



- 16** カバーの裏側に付いているプラスチックフックを、生地ごと巻き込むようにシートのフチに引っ掛けて固定します。



- 14** シートの内側です。カバーには前後に2か所プラスチックフックが付いています。



- 17** シートの内側は図のようになります。



- 15** プラスチックフックを、生地と一緒に折り返して、シートのフチに引っ掛け固定します。詳しい固定方法は**16番**の図を参考にしてください。



- 18** カバーのラインを整えて、運転席座面の完成です。

Step 2

運転席背もたれの装着方法

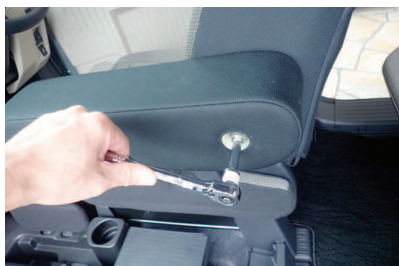


注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



- 1 アームレストをシートから外します。
アームレスト側面のプラスチックのキャップを、ヘラなどを使用して外します。



- 2 ソケットレンチなどを使用して、アームレストを固定しているボルトを外します。
ソケットは1.3mmを使用します。



- 3 ボルトを外すとアームレストがシートから外れます。
外したアームレストは、ボルトやワッシャーを無くさないように、作業の妨げにならない場所に置いてください。



- 4 カバー両側面のファスナーを、開けた状態にしておきます。
シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 5 ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。
まず台座の片方のフチに、生地をしっかりと入れ込みます。



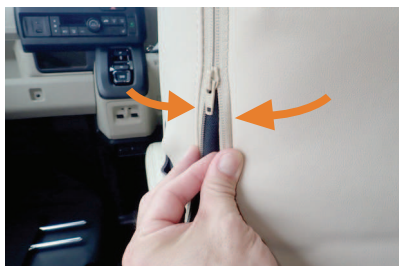
- 6 生地の伸びを利用して、台座をカバーの加工穴から取り出します。
本革を使用しているカバーでは、生地が伸びないため、加工穴の端が裂けてくる場合があります。慎重に作業を行うことで、生地が裂けてきた場合でも、台座の幅以上に裂け目は広がりません。
作業は慎重に行ってください。



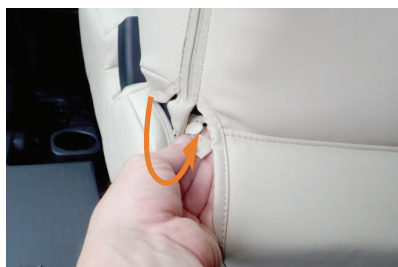
- 7** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
背もたれの角度を調整して、生地を入れ込みやすい位置で作業を行ってください。
この際、図の赤矢印部分に生地に巻かれた配線が通っています。配線部分を避けて生地を入れ込んでください。



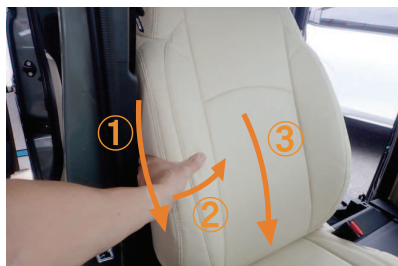
- 8** 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



- 9** カバー両側面のファスナーを、生地を内へ寄せ合いながら慎重に閉じます。
ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理に閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 10** ファスナーの端はカバーの内側に入れ込みます。



- 11** カバーをシートに馴染ませていきます。
図の①～③の順番にシートに密着させるようにし、シワを無くしていきます。側面の生地がしっかりと張るまで繰り返し行ってください。



- 12** 8番で引き出した生地と、カバーの背面下をマジックテープで固定します。



注意

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。



- 13** カバーの背面下にはマジックテープが付いています。マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。

14・15・16・17番の説明は、2列目ヘッドレスト（リアシートビロー）装備車用になります。



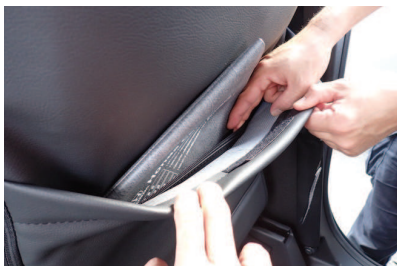
- 14** シート背面のポケットについて説明します。2列目ヘッドレスト（リアシートビロー）を下側のポケットに入れます。ポケットの奥に、先端にマジックテープの付いたベルトがあるので、引き出します。マジックテープをポケットの内側に付いているマジックテープに貼り付けて固定します。ベルトは少し長めにしているので、適度な位置でマジックテープを固定してください。



- 15** 図のように、純正シート同様に、シート背面に2列目ヘッドレストを収納できます。純正シートと同様に、2列目ヘッドレストを2個とも収納する場合は、必ず下のポケットから収納するようにしてください。上のポケットからヘッドレストを収納すると、下のポケットにヘッドレストを収納できなくなります。



- 16** 2列目ヘッドレストを収納する際、無理に入れ込もうとするとポケットの付け根部分に負荷がかかり、生地が裂けたり、縫い目の糸が切れる恐れがあります。2列目ヘッドレストを収納する際は、慎重に行ってください。



- 17** 下側のポケットの内側に、ファスナーを開けて使用するポケットがあります。車検証などを入れて使用してください。車検証カバーのサイズによっては、収まりきらない場合もあります。予めご了承ください。



- 18** サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認してください。カバーのラインを整えて、運転席背もたれの完成です。

Step 3

助手席座面の装着方法



- 1** シートの前側から、シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。
シート先端の生地がしっかりと張るようにカバーをかぶせてください。



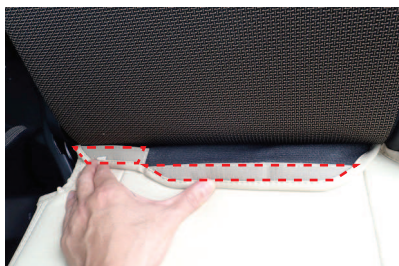
- 4** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
シートに巻き付けるようにして生地を入れ込み、マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 2** シートの外側に付いているベルトを、カバーのポケット部分の内側に付いている切り込み穴から取り出します。



- 5** シートの外側の軸部分です。
カバーをシートの形状に沿わせるようにかぶせて、端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



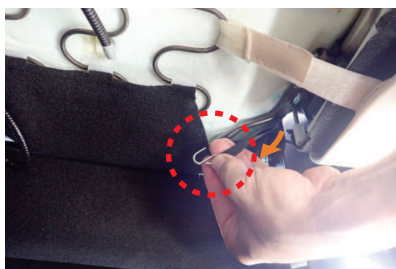
- 3** 背もたれと座面の隙間に入れ込む生地には図のように2か所マジックテープが付いています。



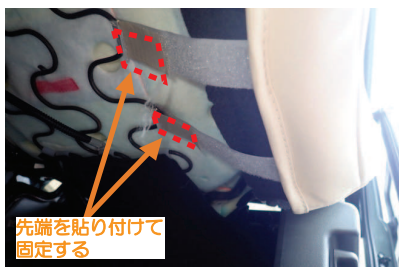
- 6** シートの外側のカバーに、2本のマジックテープのベルトが付いています。



- 7** マジックテープのベルトを、シートの裏側に入れ込み、シートの裏側にある金属フレームに巻き付けて折り返します。



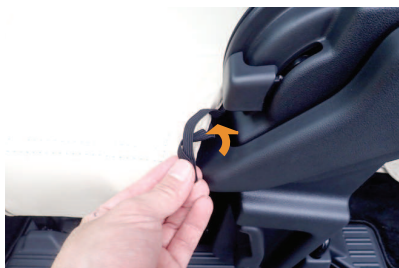
- 10** 入れ込んだゴムをシートの裏側から引き出します。
引き出したゴムに付属の金属フックを取り付けます。



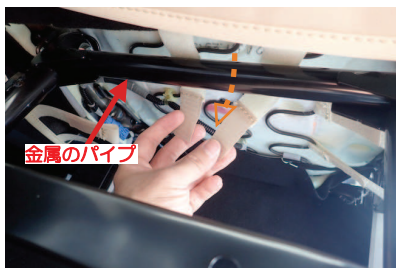
- 8** マジックテープ先端のを、ベルト部分に貼り付けて固定します。



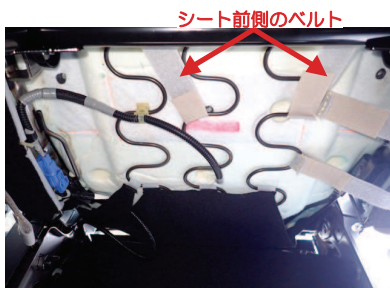
- 11** 金属フックをシート裏側の金属フレームに引っ掛けてゴムを固定します。



- 9** シート外側のリクライニングレバーがある辺りです。
カバーの端にゴムが付いています。
ゴムをシートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。



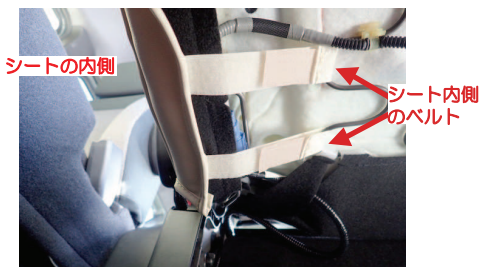
- 12** シートの前側にも外側と同様にマジックテープのベルトが付いています。
マジックテープのベルトを図の金属のパイプの上を通して、シートの裏側に入れ込みます。



- 13** マジックテープのベルトを、**7番・8番**のシートの外側と同様に固定します。



- 16** カバーのラインを整えて、助手席座面の完成です。



- 14** シートの内側にもマジックテープのベルトが2本付いています。シートの外側・前側と同様に固定します。



- 15** シート内側の付け根部分です。カバーの端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。

Step 4

助手席背もたれの装着方法



注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



- 1** シートの背面に付いているプラスチックパーツを外します。
プラスチックパーツはネジ2本とツメで固定されています。
ブラスドライバーを使用して2本のネジを外します。



- 2** 図の隙間にヘラなどを差し込み、軽くヘラを起すように動かすと、プラスチックパーツ裏のツメが外れます。



- 3** プラスチックパーツがシートから外れました。



- 4** シート背面のヘッドレストを収納する袋が出てくる部分にも、カバーが被ります。
こちらの袋は、カバーのファスナーを開いて純正シートを出すことで、使用できる仕様になっています。



- 5** カバー内側面のファスナーを開けた状態にしておきます。



- 6** シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 7** ヘッドレストの台座を取り出します。



- 10** プラスチックフックの固定方法は、フック状のプラスチックに平らなプラスチックをはめ込み固定します。詳細は**11番**を参考にしてください。



- 8** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
この際、図の赤矢印部分に生地が巻かれた配線が通っています。配線部分を避けて生地を入れ込みます。



- 11** プラスチックフックの固定方法は、フック状のプラスチックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 9** シートを倒して、入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。
引き出した生地に付いているプラスチックフックを、カバー背面下のプラスチックパーツと固定します。



- 12** プラスチックパーツがしっかりフック側に入り込むように、ヘラなどを使用して奥までプラスチックパーツを生地を入れ込みます。



- 13** プラスチックパーツを固定すると図のようになります。

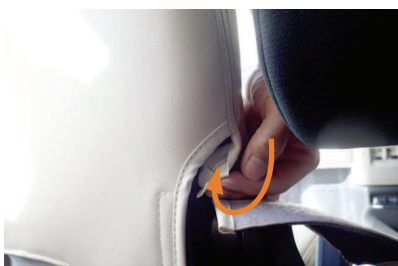


注意

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。



- 14** カバー内側のファスナーを、生地を内へ寄せ合いながら慎重に閉じます。
ファスナーを閉じる際、ペンチなどを使用して無理に閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



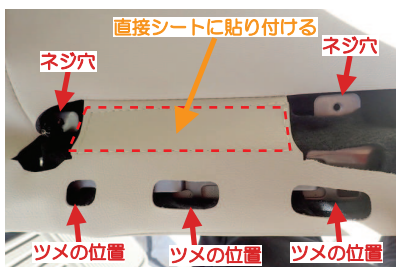
- 15** ファスナーの端はカバーの内側に入れ込みます。



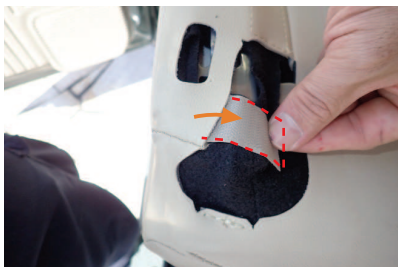
- 16** カバー内側の軸部分です。
軸部分のカバーを、背面の生地とマジックテープで固定します。
軸部分のカバーは、引っ張り過ぎるとマジックテープの貼り合わせ部分を通り過ぎてしまうため、引っ張り過ぎないように注意してください。



- 17** シート内側の軸部分は図のようになります。



- 18** 3番でプラスチックパーツを外した内側部分です。
カバーの加工穴と、ネジ穴・プラスチックパーツ裏側のツメの位置を合わせます。
赤線部分のマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 19** カバーの加工穴の端に付いているマジックテープを、直接シートに貼り付けて固定します。



- 22** シートの背面は図のようになります。助手席背面のカバーは、シートの形状上、生地が浮きやすくなります。ご理解いただきますよう、お願いいたします。



- 20** プラスチックパーツをシートに戻します。カバーの加工穴とプラスチックパーツ裏側のツメの位置を合わせて、生地を挟み込みシートに固定します。



- 23** 背もたれ背面の、ヘッドレストを収納する袋は、カバーのファスナーを開き、更に純正シートのファスナーを開いて使用してください。



- 21** ネジを元通りに固定します。



- 24** サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認してください。カバーのラインを整えて、助手席背もたれの完成です。

Step 5

2列目座面の装着方法



- 1** シートの前側から、シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。
シート先端の生地がしっかりと張るようにカバーをかぶせてください。



- 2** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 3** 2番で入れ込んだ生地に付いてるベルトをシートの裏側を通して、シートの前側から引き出します。



- 4** シート前側の裏側です。
カバーの端に付いているバックルを、シートのフック状の金属部分に通します。



- 5** 3番で引き出したベルトを、バックルに通して固定します。



- 6** ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引くことでベルトが締め固定されます。
ベルトを強く引きすぎると、生地が破れたり、ベルトの縫い目の糸が切れる恐れがありますので、注意してください。



- 7** ベルトを固定するとシート前側の裏側は、図のようになります。



- 10** シート外側の前側です。こちらでカバーの端に付いているフックをシート裏側の金属のフレームに引っ掛けて固定します



- 8** シート外側の後ろ側です。カバーの端にフックが付いています。



- 11** シート内側の後ろ側です。こちらでカバーの端に付いているフックをシート裏側のシートのフチに引っ掛けて固定します。



- 9** フックをシートの裏側に入れ込み、シートのフチに引っ掛けて固定します。



- 12** カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取付けます。

Step 6

2列目背もたれの装着方法



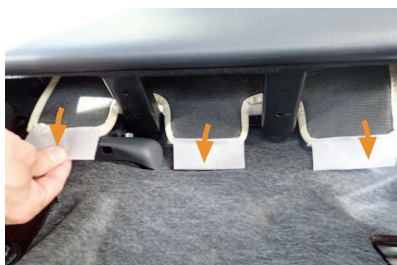
- 1** 始めにラゲジ部分のカーペットをめくっておきます。
カーペットをめくると、カーペット裏のウレタンも一緒にめくれます。



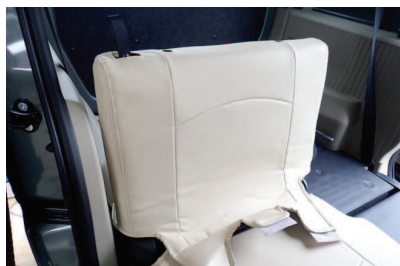
- 4** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



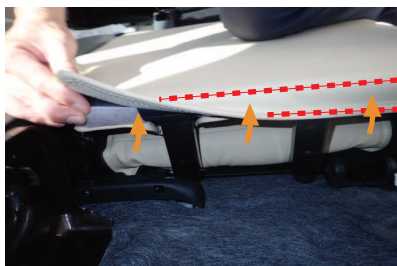
- 2** カバーを図のように裏返します。
シートのラインに合わせて、シートの先端まで生地が張るようにカバーをかぶせます。
この際、シート肩口のリクライニング用ストラップを、カバーの加工穴から取り出します。



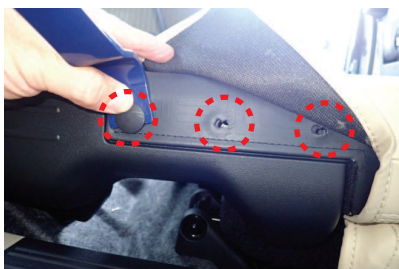
- 5** 入れ込んだ生地を、シートを倒して背面から引き出します。



- 3** シートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。
2列目ヘッドレスト装備車は、ヘッドレストの台座を取り出します。



- 6** 引き出した生地とカバー背面下の生地を、マジックテープで固定します。



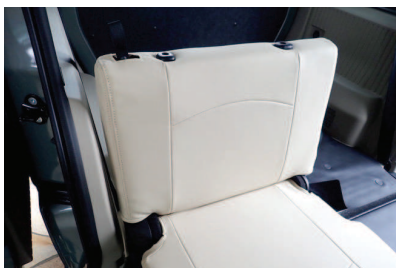
- 7** シート側面の下側です。
純正シート表皮を固定しているリベットピンを、内張りはがしを使用して外します。
リベットピンは内側・外側ともに3本ずつ付いています。



- 10** 8番の作業でリベットピンがうまく固定できない場合は、純正シート地を図のようにめくり、カバーの生地のみを挟み込み固定してください。



- 8** ピンを外したシート部分をカバーで覆い、カバーの切り込みとリベットピンの位置を合わせます。
リベットピンをカバーの上から固定し直します。



- 11** カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。
助手席側も同様に取り付けます。



- 9** リベットピンを固定すると図のようになります。
シートの内側・外側ともに作業を行ってください。

Step 7

ヘッドレストの装着方法

運転席ヘッドレスト



- 1** カバーを図のように裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせてください。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前になります。



- 2** 裏返していた部分を左右均等に引き下ろしカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 3** ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏の生地を寄せ合いながら、端に付いているマジックテープを固定します。



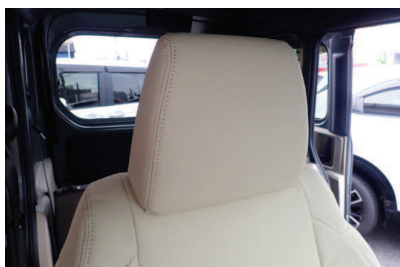
- 4** プラスチックフックを固定します。



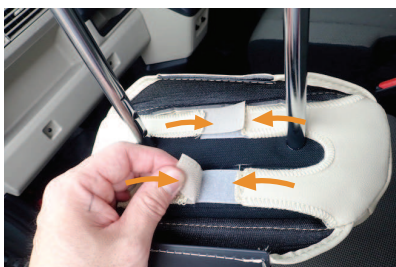
- 5** プラスチックフックの固定方法は、フック状のプラスチックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 6** ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 7** カバーのラインを整えて、運転席ヘッドレストの完成です。



- 10** ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏の生地を寄せ合いながら、端に付いているマジックテープを固定します。

助手席ヘッドレスト



- 8** カバーを図のように裏返して、ヘッドレストのラインに合わせにかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせてください。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前になります。



- 11** 運転席と同様にプラスチックフックを固定します。詳しい固定方法は22ページ5番を参考にしてください。ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 9** 裏返していた部分を左右均等に引き下ろしカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 12** カバーのラインを整えて、助手席ヘッドレストの完成です。

2列目ヘッドレスト（リアシートピロー）

※本項目は2列目ヘッドレスト装備車のみ対象です。



- 13** カバーを図のように裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせてください。カバーはデザインステッチ、もしくはパイピングが入っている方が前になります。



- 14** 裏返していた部分を左右均等に引き下ろしカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 16** ファスナーの端はカバーの内側に入れ込みます。



- 17** ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 15** ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏の生地を寄せ合いながら、ファスナーを慎重に閉じます。



- 18** カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。

Step 8

アームレストの装着方法



- 1 カバーを図のように裏返して、アームレストのラインに合わせてかぶせます。アームレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせてください。



- 4 アームレストをシートに固定します。



- 2 アームレスト全体にカバーをかぶせます。生地を内へ寄せ合いながら慎重にファスナーを閉じます。



- 5 キャップを生地を挟み込み固定します。



- 3 アームレスト外側のボルト穴とカバーの加工穴の位置を合わせます。



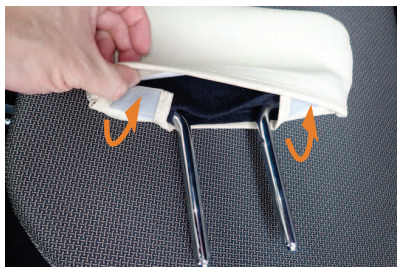
- 6 カバーのラインを整えて、アームレストの完成です。

Step 9

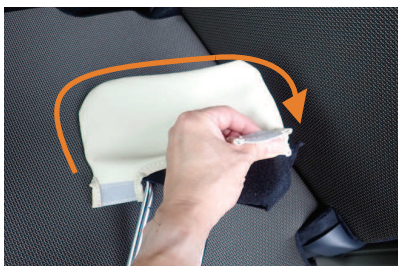
小物侵入防止板(フロアボード)の装着方法



- 1** カバーの向きを確認します。
フロアボードとカバーの形状を確認して、
形状が合っている向きでカバーをかぶせま
す。



- 4** フロアボードの下側でマジックテープを固
定します。



- 2** フロアボードの片側にカバーをかぶせて、
もう片側に生地をかぶせていきます。
カバーの入り口は狭くなっているので慎重
に作業を行ってください。



- 5** マジックテープを固定するとフロアボード
の下側は図のようになります。

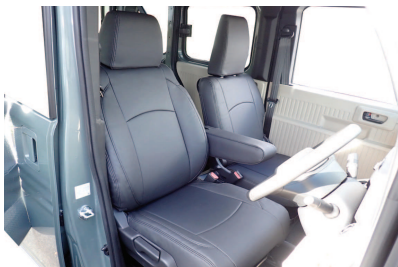


- 3** フロアボード全体にカバーをかぶせて、カ
バーのラインを整えます。



- 6** カバーのラインを整えて、フロアボードの
完成です。

完成図



1 列目



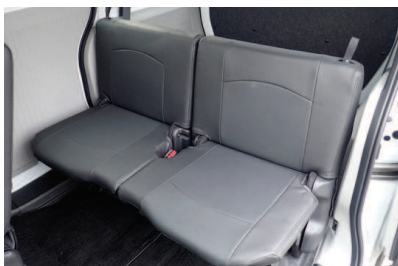
1 列目背面
2 列目ヘッドレスト (リアシートピロー)
装備車
2 列目ヘッドレスト (リアシートピロー)
助手席ヘッドレスト収納状態



1 列目背面
2 列目ヘッドレスト (リアシートピロー)
未装備車



2 列目
2 列目ヘッドレスト (リアシートピロー)
装備車



2 列目
2 列目ヘッドレスト (リアシートピロー)
未装備車



フルフラット状態

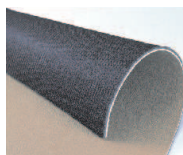


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。
長時間放置しておくとうれやシミが取れなくなります。
表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となる為しっかりと乾燥させてください。

※デニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL. 072-330-8000 FAX. 072-330-8816